

JXエネルギー社員ボランティアによる環境貢献活動について

～「ENEOS環境ボランティアリーダー研修」を実施～

記者各位

当社(社長:木村 康)は、経営統合前から新日本石油株式会社、株式会社ジャパンエナジーがそれぞれ取り組んできた、社員およびその家族等のボランティアによる環境貢献活動を継承し、取り組んでおります。今般この活動強化に向け、9月11日(土)～12日(日)の2日間、山梨県清里高原※1において、「ENEOS環境ボランティアリーダー研修」を実施しましたので、お知らせいたします。

「ENEOS環境ボランティアリーダー研修」は、初級編と中級編からなり、全国9箇所に拡大した「ENEOSの森」における森林保全活動に必要な知識やスキルを養うとともに、東京都主催「東京グリーンシップアクション」への参加による里山保全活動、「日比谷公園 ENEOS花壇整備活動」などを含めた様々な環境貢献活動に、広く自主的に取り組む意識を高めることを目的に開催するものです。

経営統合後、初めての開催となった今回※2は、一層多くの社員が「ENEOSの森」活動等へ参加するきっかけ作りとして、環境教育の専門家※3を講師に迎え、森林自然体験・ナイトハイキング・早朝自然観察会・除間伐作業・間伐材を活用した遊歩道の柵作り等、五感を使っでの体験、実習を数多く取り入れた初級編を実施しました。

当社は、JXグループ経営理念に掲げる行動指針「地球環境との調和」「社会との共生」のもと、こうした自然保護、緑化などの環境貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

※1:財団法人キープ協会フォレスターズキャンプ場(環境教育で経験の豊富な財団法人キープ協会が運営する研修施設)

※2:今回で通算18回目の開催となり、延べ参加者数は286名

※3:株式会社クランおよび財団法人キープ協会の環境教育専門スタッフ

《当日の様子》

①集合写真



②森の中で説明を聞く受講者



以上

別添資料:社員ボランティアによる環境貢献活動の概要

● 別添資料

 [社員ボランティアによる環境貢献活動の概要](#)(PDF:131.1 KB/1ページ)